

広島修道院きずなの家は、『広島修道院家庭的養護推進計画』に沿って、平成 26 年 4 月より小規模ケアと家庭的養育をめざして本体施設を分割し開設しました。

きずなの家は、より家庭に近い養育環境の下で、子どもも大人も話し合うことを大切に、それぞれの子どものニーズに可能な限り応えて社会体験を増やし、自立の力を育てるようにと取り組んでいます。

自立の力とは社会生活を営むために必要な知識や技術ですが、その土台となるものは、何か困難に直面した時に＜信頼できる誰かに相談できる力＞＜相談しながら解決策を考えて取り組んでみようとする力＞です。そしてそれは日々の生活の関わりや体験のなかで、＜子どものつよみ＞を依りどころにして、小さなことを積み重ねていくことによって育まれ強められていくものです。この思いが、きずなの家の養育の“根っこ”です。この“根っこ”を太く深くはりめぐらせていきたいと思っています。

きずなの家では、個性豊かな子どもと大人達が、話して笑って怒って泣いて…にぎやかに毎日を過ごし、育ちあっています。